





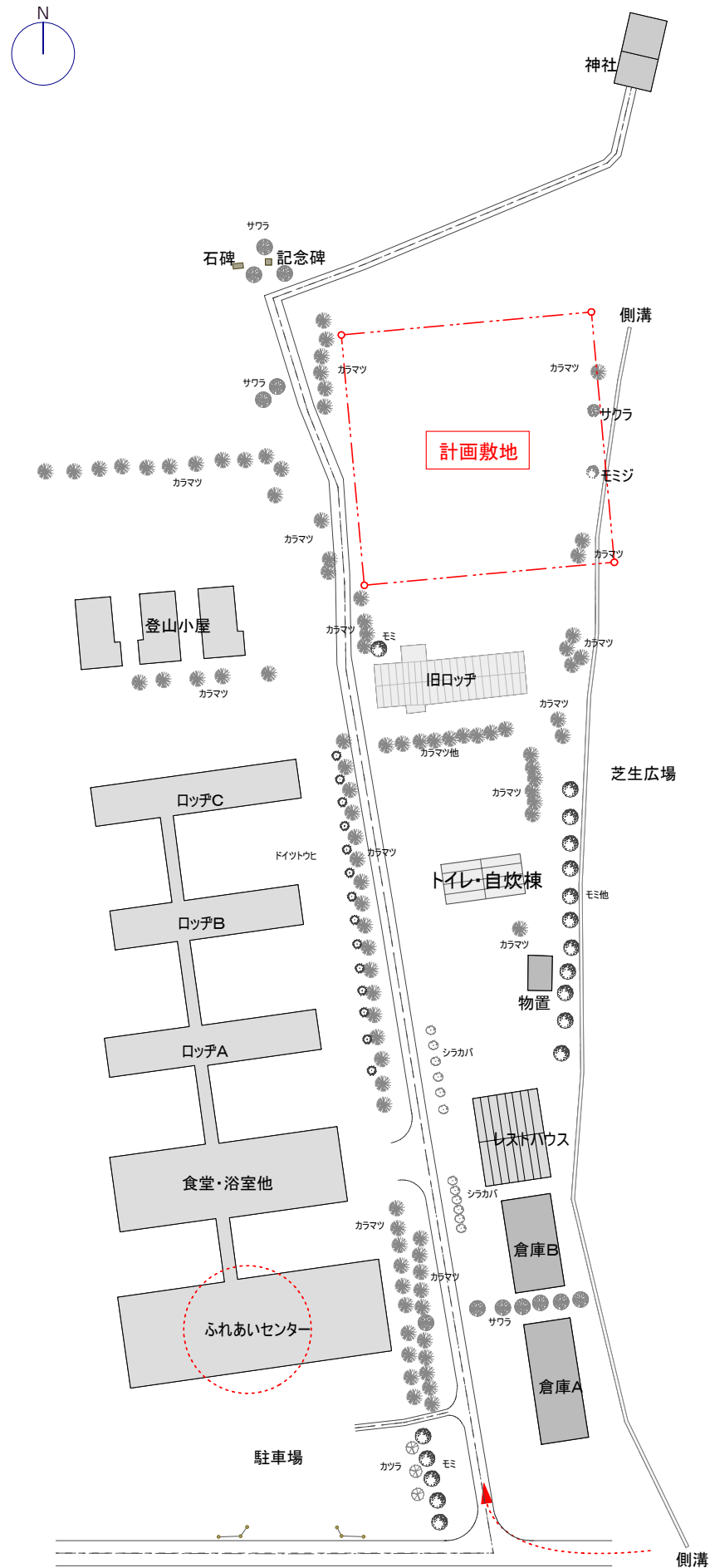
設計趣旨

大きな木の下

樫島ロッジは南アルプスに登る人々のベースキャンプ地です。
これから山に登ろうとする人が
人とのつながりを感じられる場所。

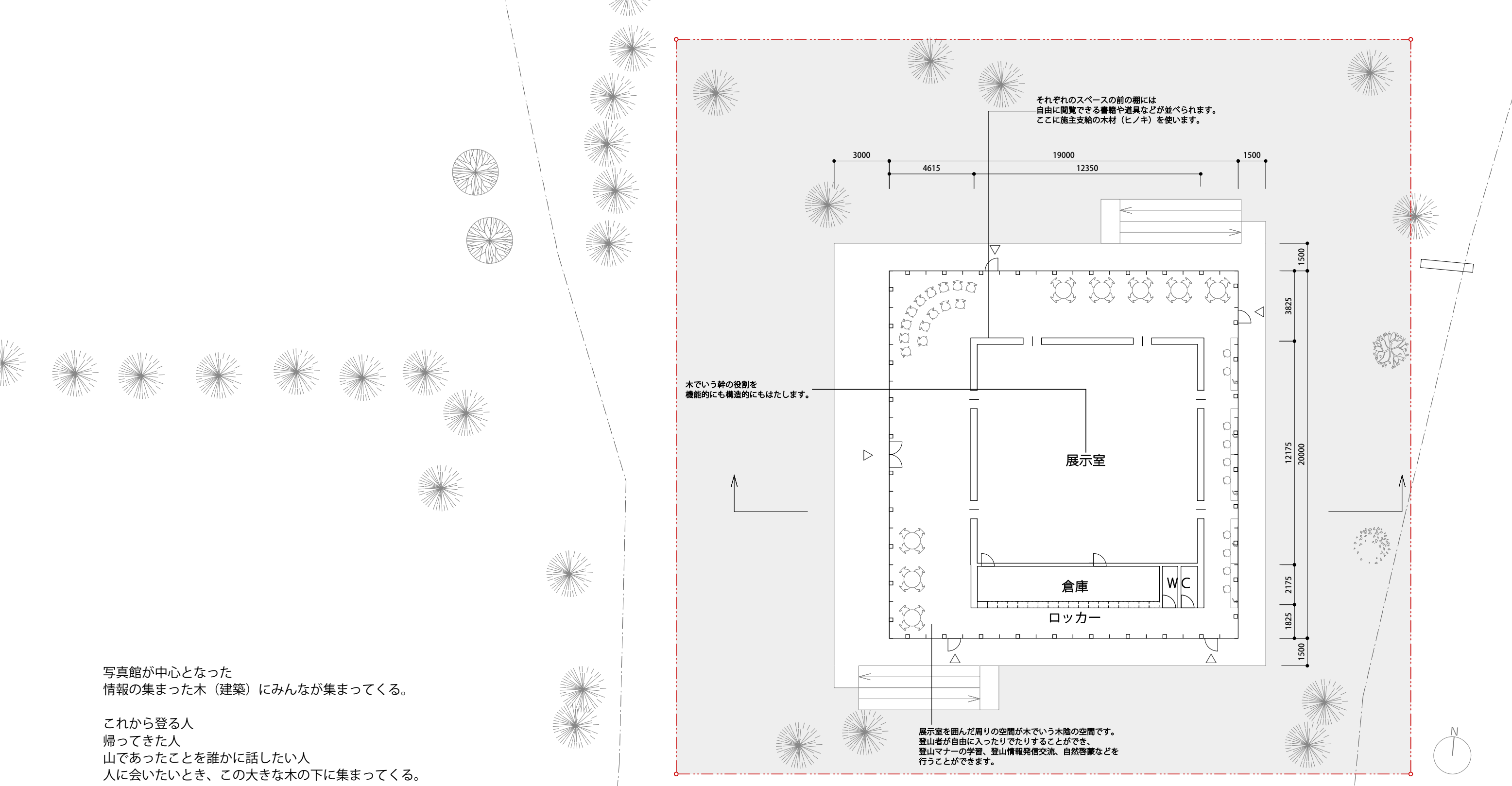
厳しい自然に挑む前に
また、帰ってきたときに
人が集まりほっと一息つけるような場所。

誰でも立ち寄れる、大きな木の下のような空間を提案します。



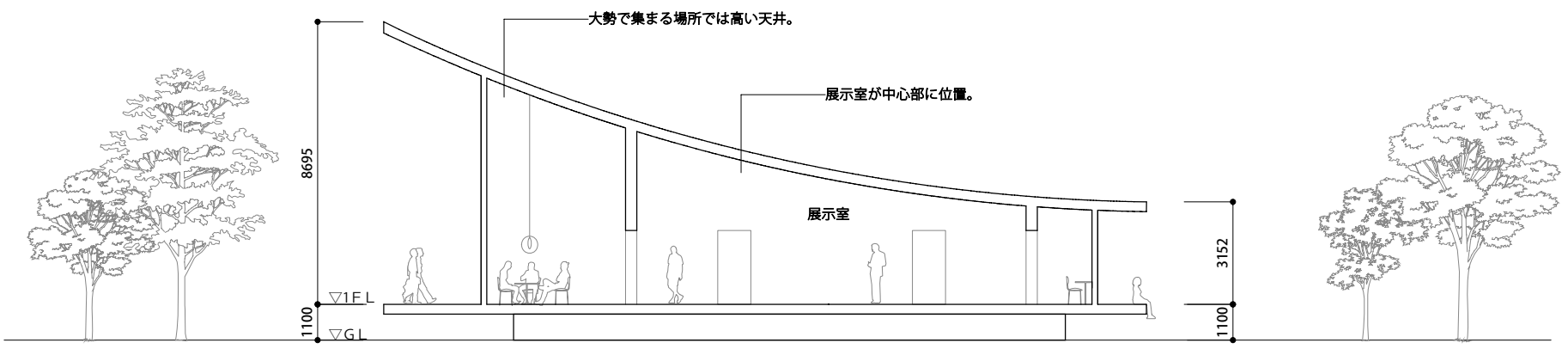
既存のふれあいセンターの機能を補完する写真館を提案します。

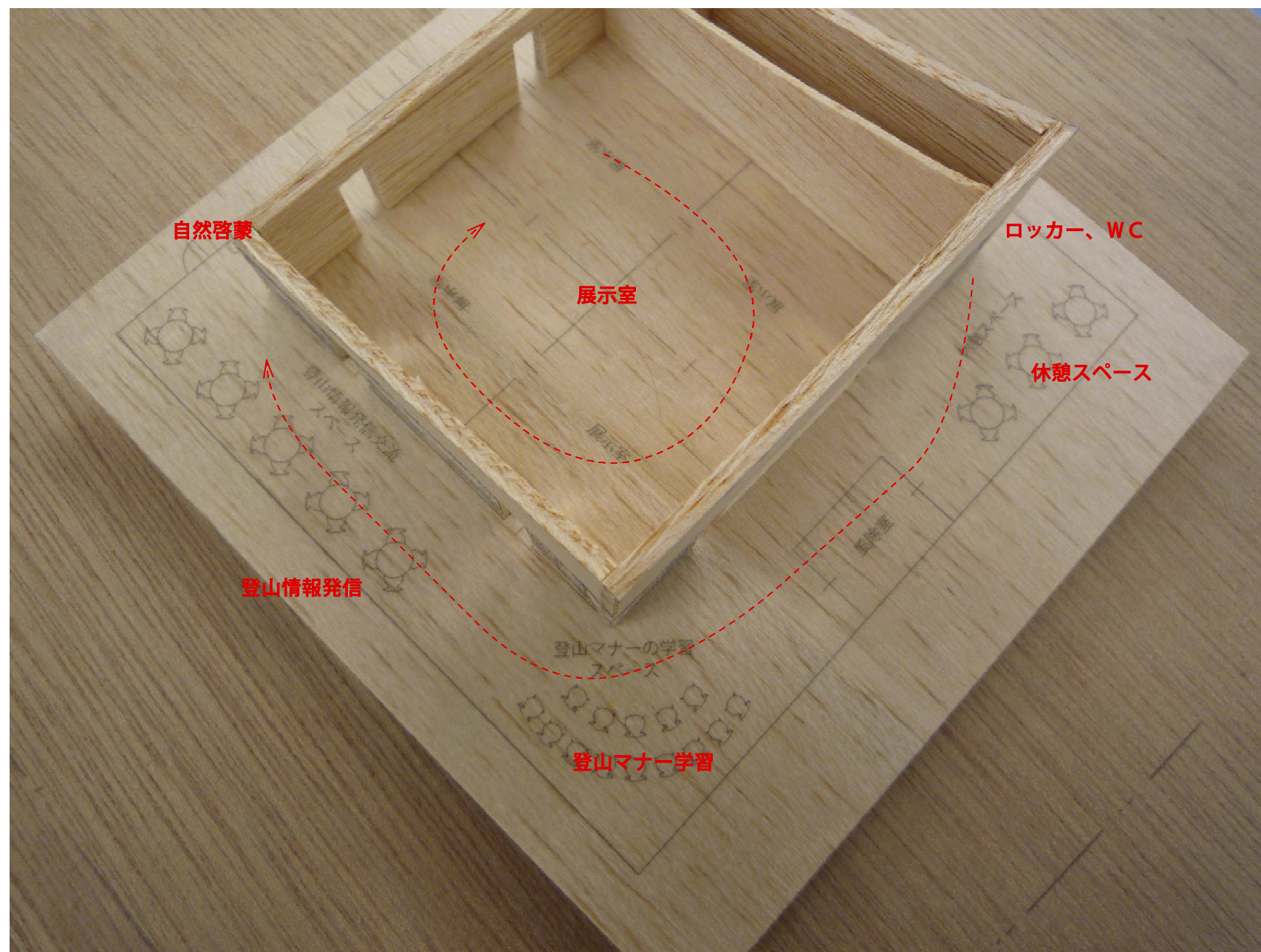
既存のふれあいセンターがロッジの出入り口近くにあり
 出発、到着後すぐにアクセスできるのに対し、
 本計画地は榎島ロッジの最も奥に位置しており、
 長時間の情報収集や、講習、自己啓蒙に適していると言えます。



写真館が中心となった情報の集まった木（建築）にみんなが集まってくる。

これから登る人
 帰ってきた人
 山であったことを誰かに話したい人
 人に会いたいとき、この大きな木の下に集まってくる。





展示室を中心に登山者に必要な情報を持った壁（棚）がぐるりと一周しており、一筆書きのように1周すればすべての情報に触れることができます。



中のような外のような誰でも立ち寄れる、大きな木のしたのような場所です。

